

2011年7月7日

七夕

油井和徳

東京も梅雨明け。猛暑が続いています。

風流を感じて涼をとろう！ということで、7月7日七夕の日に入所者やボランティアの皆さんに短冊を書いてもらいました。



「体がよくなりますように」

「いつも来てくれる親切なヘルパーさんに会いたいな」

「もう一度幸せな家庭をもてますように」

「儂く美しくあでやかであるがごとし！我が命大切な友に」

「REVIVE！REBUILD！RISE UP！（甦れ！取り戻せ！立ち上がれ！）」

自身の健康から身近な人への想い、願いごと、震災復興へのメッセージ…一人一人それぞれの思いを綴ってもらいました。

昼間玄関に飾っていると、近隣のドヤに住んでいる人々が足を止めて眺める光景も見られました。なかには自身で書いた短冊を飾ってほしいと持ってきてくれる人もおり、近隣のみなさんにも好評のようです。

短冊に込められた思いに触れ、少しの間暑さを忘れる事のできた一日でした。